

テーマ：あらたな新興感染症発生時に産業保健スタッフが対応すべきこと
～次のパンデミックのためのシナリオトレーニング～

1. 背景

今回の COVID-19 に限らず、今後も新たな感染症の世界的流行が想定されている。ひとたびパンデミックが起これば事業継続への影響、働く人々の安全と健康への脅威は計り知れない。そのような事態を想定し、健康危機管理として事業場内の感染対策を講じ、感染拡大を抑制し被害を最小限にする方策を検討しておく事が重要である。しかし、企業の約半数が新興感染症についての事業継続計画を策定していない現状であることがわかっている。次なるパンデミックに備え、産業保健スタッフは予め想定される状況や従業員の健康障害リスクを明確化し、日頃から知識や技術、実践力を磨いておく必要がある。

2. 目的

新型コロナウイルス感染症の対応経験を踏まえ、新たなパンデミックに備えるために、産業保健専門職としての感染症リスクアセスメント・リスクマネジメントの基本的な対応について言語化できる。

3. 到達目標

- (1) 感染症のリスクアセスメントのための、具体的な情報検索方法、情報収集の視点について説明できる
- (2) リスクアセスメントに基づき、事業者に対して産業保健専門職として適切な助言ができる
- (3) 新興・復興感染症（または未知なる感染症）発生時におけるリスクマネジメントの具体的な考え方に基づき、産業保健専門職としての適切な行動（事業者への説明・助言、従業員への情報発信、社内感染症対策、BCP）について具体的に挙げる事ができる

4. 開催内容

- ・開催日時と開催方法（同内容の研修を2回実施、対象者はいずれか1回のみの受講）
 - ① 2023年7月9日（日）13:30～16:00（2.5時間） ビジョンセンター東京 京橋（808会議室）
 - ② 2023年7月22日（土）13:30～16:00（2.5時間） オンライン
- ・研修形式：
演習（ワーク）中心「海外発生期のワークと国内発生期のグループワークを1単位ずつ」
- ・定員：42名（6人×7グループ）
- ・講師：吉川悦子先生（日本赤十字看護大学准教授）
- ・申請研修科目：②総括管理 7. 健康危機管理
- ・申請単位数：実地2単位
- ・参加費：産業保健看護部会員無料、非部会員2,000円
- ・必要スタッフ：ファシリテーター7名、運営スタッフ3名程度

スケジュール	内容
13:30～13:35	会長挨拶・講師紹介
13:35～13:50	趣旨説明・事例紹介
13:50～14:25	グループワーク① 海外発生期の対応
14:25～14:40	グループワーク①の内容発表・講師コメント
14:40～14:50	休憩
14:50～15:00	事例（続き）説明
15:00～15:30	グループワーク② 国内発生期の対応
15:30～15:55	グループワーク②の内容発表・講師コメント
15:55～16:00	質疑応答・まとめ